

令和3年度事業報告概要

令和3年度は、全世界的な新型コロナウイルス感染症の影響で国内の移動制限、インバウンドの入国制限が続くなど当地域においても経済や観光産業にさらに深刻な被害が生じました。三重県において8月末から9月にかけての「緊急事態宣言」や3度の「まん延防止等重点措置」が発出され、当協会も引き続き国の雇調金・支援金などを活用しながら事業を進めました。また三重県の「みえ得トラベル地域応援クーポン」や、前年度から継続の伊賀市の「忍者市旅得キャンペーン」事業として教育旅行・エージェントに向けた共通券の配布事業を展開し伊賀市への来訪促進、「プレミアム付食事券」「伊賀市地域振興券」などコロナ対応の事業を推進しました。しかしながら「三重とこわか国体・三重とこわか大会」でのデモンストレーション競技「伊賀流手裏剣打選手権大会」や2月の「IGA NINJA WEEK2022」などの誘客関連事業は中止となりました。

また、三重県と連携して海外旅行事業社とのオンラインでの商談会へ積極的に参加するなどコロナ後の外国人観光客の獲得に向けた誘客に努めました。

広域連携の取り組みとしては、本協会を含めた県内5つの観光協会で実施の「伊賀・亀山・津・松阪・鳥羽 城郭めぐりスタンプラリー」「御城印(城のご朱印)」が引き続き好評でした。そして伊賀地域回遊の「忍者ゆかりのご朱印巡り」や、まちなか回遊事業の「心・技・体 伊賀忍者道場」の企画推進を行うなど観光客受入態勢の充実を図りました。また県内学校団体の修学旅行、社会見学の受け入れに「マチ探」などの体験メニューやボランティアガイドを利用したツアーなど団体の受け入れを行いました。

国(観光庁)が推進する「観光地域づくり法人(DMO)」では、必要なマーケティングを行い、そのデータ分析を様々な関係者と合意形成・情報共有を進めました。本年度は「観光まちづくり企画塾(第3期)」を開催して人材育成に関する取り組みや観光庁の「磨き上げ」支援事業を活用し、ニューノーマルな旅行スタイルの元、スマホアプリを使った城下町回遊の仕組みづくりや教育旅行向けのメニュー作りを進め地域資源を活用した伊賀ならではの魅力あるメニューを造成、また公益財団法人三重県観光連盟のデジタルマーケティング導入支援事業の支援を受け、Google ビジネスプロフィール(旧 Google マイビジネス)を活用した情報発信方法の普及・啓発と事業者情報を集約した伊賀全体の情報発信の施策など着地型観光や観光振興事業・情報発信事業を進めました。

本年度は、前年度に引続き大変厳しい運営を迫られ、本協会の収益を回復させることを最優先にしつつ、新しい観光スタイルによる誘致事業を展開し、観光事業の早期回復に向けた取り組みを進めるとともに、持続可能な観光振興事業の取り組みにより新型コロナウイルス収束後の観光客を受け入れる準備を進めた年となりました。

令和3年度事業報告書

1 観光資源の開発及び保存

- | | |
|---|----|
| (1) 「日本遺産 忍びの里 伊賀・甲賀ーリアル忍者を求めてー」忍びの里伊賀甲賀忍者協議会への参画 | 通年 |
| (2) 忍者(忍術)を生かした誘客事業 ・デジタルミュージアム秘蔵の国 伊賀 (デジタルアーカイブ事業) ・株式会社フジヤとの「忍泊」企画 | 通年 |
| (3) 伊賀流忍者博物館(忍者屋敷及び忍者ショーステージ)の改修 | 通年 |

総括

忍びの里伊賀甲賀忍者協議会への参画により両地域でしか取り組めない「リアル忍者」事業が行えた。また市と連携で「デジタルアーカイブ事業」により忍者の古文書の公開を行った。またコロナ下の新たな取り組みとして「忍泊」事業の展開を行い、異なった切り口での忍者を生かした事業を進める事ができた。

2 観光客の誘致促進

- | | | |
|---|---|-------------|
| (1) 宣伝印刷物の作成配布 | | |
| ア 忍びの国伊賀 オススメお昼ご飯処マップ | 20,000部 | 3年 4月 |
| イ 観光案内用市内地図 | 120,000部 | 4年 2月 |
| ウ 伊賀忍者探索の書 | 20,000部 | 4年 3月 |
| (2) インターネットによる観光情報の発信 | | |
| ア 「伊賀流忍者博物館」ホームページ | http://iganinja.jp/ | 通年 |
| イ 「伊賀上野観光協会」ホームページ | http://www.igaueno.net/ | 通年 |
| ウ 「忍者流忍者博物館」facebookページ | https://www.facebook.com/ | 通年 |
| エ 「伊賀上野観光協会」facebookページ | https://www.facebook.com/igaueno22/ | 通年 |
| オ 「忍者流忍者博物館」Instagramページ | https://www.instagram.com/igaryu_ninja_museum_official/ | 通年 |
| カ 伊賀ポータルによる観光情報や動画の配信 | http://www.igaportal.co.jp/ | 通年 |
| キ 「IGA Official Travel Guide」(多言語) | http://www.iga-travel.jp/ | 通年 |
| (3) 観光キャンペーンの実施 | | |
| ア 忍びの国伊賀 オススメお昼ご飯処キャンペーン | 【資料1 10ページ】 | 通年 |
| (4) 報道・メディア関係等の取材協力、企業・団体への協力 | | |
| ア 観光PR用画像データの収集・貸出 | | 通年 |
| イ 報道関係に対する情報発信及び受入 | | 通年 |
| (5) 外客の開発 | 【資料7 17ページ】 | |
| ア 三重県外国人観光客誘致促進協議会に参画 | | 通年 |
| イ 海外プレス及び観光エージェントへの宣伝活動 | | 通年 |
| (ア) 忍者パック(広域連携パッケージツアー商品)受入 | | 【入国制限のため中止】 |
| (イ) 香港旅行AGTオンライン商談会 | フリープラス | 3年 9月 |
| (ウ) 国内ランドオペレーターファムトリップ(三重県・伊勢志摩コンベンション機構・志摩市観光協会) | | 3年 11月 |
| (エ) 台湾マーケットオンラインセミナー | | 3年 11月 |
| (オ) アジア市場(シンガポール)の旅行会社とのオンライン商談会【三重県】 | | 3年 12月 |
| (カ) アジア市場(台湾)の旅行会社とのオンライン商談会 | | 3年 12月 |
| (キ) アジア市場(タイ)の旅行会社とのオンライン商談会 | | 3年 12月 |
| (ク) JR東海による英米豪向け伊賀エリアのプロモーション取材対応 | | 3年 2月 |
| (ケ) 国内ランドオペレーターファムトリップ(三重県・伊勢志摩コンベンション機構・志摩市観光協会) | | 4年 3月 |
| (コ) 国内ランドオペレーターファムトリップ(三重県・伊勢志摩コンベンション機構・志摩市観光協会) | | 4年 3月 |
| ウ 観光施設解説板外国語併記の促進 | | 通年 |
| エ 海外向けNINJAプロモーションの推進 | | 通年 |

総括

コロナ禍においての日々変わるタイムリーな情報発信を ホームページやSNSなど様々なツールで行うことができた。海外エージェント、メディアはもとより、海外においても三重県等と協力し商談会をオンラインで行い、コロナ後にに向けた伊賀の情報発信が行えた。

3 観光行事の実施とイベントの企画及び支援

| | | | |
|--|--|----|--------------|
| (1) 観光行事の実施(主催事業) | | | |
| ア 忍者供養回向(忍者博物館職員のみで実施) | 伊賀流忍者博物館 | 3年 | 4月 |
| (2) 誘客事業・イベントの企画(主催 共催) | | | |
| ア 三重エキスポ! 2021 ※イオンモール津南へ城郭めぐりPR共同出展 | | 3年 | 10月 |
| イ 「忍者の日」キャンペーン | 日本忍者協議会 | 4年 | 2月 |
| ウ 伊賀・亀山・津・松阪・鳥羽城郭めぐりスタンプラリー ※伊賀上野・津・松阪・鳥羽・亀山の観光協会で実施 | | | 通年 |
| エ 伊賀流忍術指南道場(場所:敢国神社ほか) | | | 通年 |
| オ 名鉄観光リアル謎解きゲーム「マチ探」 | 名鉄観光サービス(株) 上野商工会議所 (一社)伊賀上野観光協会 | | 通年 |
| ・滋賀県立玉川中学校(4/23) ・四日市市立三滝中学校(5/11) ・桑名市立光陵中学校(6/14) ・東員町立東員第一中学校(11/5) ・桑名市立光風中学校(3/15) 合計:1,269人 | | | |
| カ 忍者変身処 | だんじり会館 | | 通年 |
| キ 伊賀忍者回廊 伊賀忍者ゆかりの神社仏閣御朱印めぐり | | | 通年 |
| ク 忍者おみくじ(敢国神社、愛宕神社) | | | 通年 |
| (3) 事業・イベント支援(後援 協力) | | | |
| ア 伊賀上野NINJAフェスタ | 伊賀上野NINJAフェスタ実行委員会 | | 通年 |
| イ 伊賀市プレミアム付食事券 忍法元気回復の巻 | 伊賀市プレミアム付商品券事業実行委員会 | 3年 | 4月 ～ 5月 |
| ウ 伊賀之忍砦祭 ～弐～ | 伊賀流忍者サークル～伊賀之忍砦～ | 3年 | 5月 |
| エ 文化施設で綴る工芸美術プロムナード 京都工芸美術作家協会展in伊賀 | (公財)伊賀市文化都市協会 | 3年 | 5月 |
| オ 伊賀市プレミアム付食事券 忍法元気回復の巻 | 伊賀市プレミアム付商品券事業実行委員会 | 3年 | 6月 ～ 7月 |
| カ 三重の陶芸家展in伊賀 「陶の現在を創る者たち」 | (公財)伊賀市文化都市協会 | 3年 | 10月 |
| キ 日本遺産忍びの里伊賀・甲賀 忍者クイズラリー | 土山ハイウェイサービス(株) | 3年 | 10月 ～ 12月 |
| ク 伊賀市地域振興券 | 伊賀市地域振興券事業実行委員会 | 3年 | 11月 ～ 12月 |
| ケ 伊賀流忍者観光推進協議会(イオン京都桂川) | | 3年 | 12月 |
| コ 三重カブミーティング | | 3年 | 3月 |
| サ ありがとうジャパニシールFINALキャンペーン | | | 通年 |
| シ 答えてラッキー! スマホでみえ得キャンペーン | みえ観光の産業化推進委員会 | | 通年 |
| ス 歴史まちづくりカード配布(伊賀上野インフォメーションセンター) | 国土交通省中部地方整備局 | | 通年 |
| セ 国登録文化財ヘリテージカード配布(伊賀市観光案内所) | (一社)三重県建築士会伊賀支部 | | 通年 |

総括

恒例の主催行事やまちづくり・観光関連団体との共催・協力など例年からは大きく事業数が減少したがコロナ対応を行い様々な取り組みを行った。そしてコロナ・マイナンバー対応の「伊賀市商品券事業」に参画し、職員の派遣や窓口販売を行うなど地域の貢献事業も行った。また、「マチ探」など教育旅行(学校団体)の需要が増えその受け入れを行った。

4 観光事業の調査研究及び観光情報の収集・発信

| | | |
|----------------------------|--|----|
| (1) 伊賀上野観光インフォメーションセンターの設置 | | 通年 |
| (2) 会員ネットワーク構築による連携強化 | | 通年 |
| (3) 伊賀地域内の観光振興団体との連携強化 | | 通年 |
| (4) 伊賀地域のまちづくり団体との交流 | | 通年 |

総括

観光案内業務を中心に窓口、電話対応、また会員からの情報提供や伊賀地域内の観光振興団体等との連携により、多方面への発信を行った。

5 観光事業従事者の資質向上と地域リーダーの育成

- | | | |
|-------------------|-------|----|
| (1) 学芸員の資格取得 | | 通年 |
| (2) 伊賀学検定 | 4年 2月 | |
| (3) その他セミナー、講習会参加 | | 通年 |

総括

職員・ボランティアガイドの伊賀学検定の受験支援、観光関係者・スタッフの人材育成に努めるとともに個人・組織・観光事業従事者の資質向上に努めた。

6 観光客の受入・おもてなしの推進

- | | | |
|--------------------------------------|-------------|-------|
| (1) 観光客受入事業 | | |
| ア まちかど観光案内所 | 【資料3 13ページ】 | 通年 |
| イ 忍者変身処 | 【資料6 16ページ】 | 通年 |
| ウ モバイルWi-Fiルーターレンタル事業 | | 通年 |
| エ フリーWi-Fiスポットの設置 | | 通年 |
| オ ぱったり床几の設置【新設は終了】 | | |
| (2) おもてなし啓発事業 | | |
| ア いがうえの語り部の育成案内 | | |
| (ア) 一般からの要請による案内 | 【資料5 15ページ】 | 通年 |
| (イ) 催事への協力 | | |
| ・伊賀市教育委員会生涯学習課主催講演会 | | |
| ・上野南部公民館 ・東部地域住民自治協議会 ・上野西部地区住民自治協議会 | | |
| イ 研修等 | | |
| (ア) 実地研修 | | 通年 |
| (イ) 伊賀学検定 | | 4年 2月 |

総括

観光客受入事業では市内店舗を中心とした「まちかど観光案内所」「フリーWi-Fiスポット」の設置など観光客の受け入れ態勢の整備を継続して実施した。おもてなし啓発事業では、「語り部」の育成やスキル向上、観光客の受け入れ体制の強化に関して語り部団体へのサポートを行った。

7 地域文化・天然資源の継承と文化的地域特性の創造

- | | | |
|---|--------|----|
| (1) 伊賀流忍者博物館の施設機能の充実 | | |
| ア 学芸員の育成 | | 通年 |
| イ 忍術関連資料の充実 | | 通年 |
| ウ 特別展スペースの確保と備品の購入 | | 通年 |
| エ 施設整備 | | 通年 |
| (2) 三重大学 伊賀連携フィールド 忍者文化協議会 | | 通年 |
| ア 国際忍者研究センター | | 通年 |
| イ 国際忍者学会 | | 通年 |
| (3) 各種団体の協力 | | 通年 |
| 【視察受入】・財務省東海財務局 津財務事務所ヒアリング | | |
| 【研修受入】・JICA-ASEAN研修事業(オンライン) ・名城大学「2021年度 学びのコミュニティ創出支援事業」国際研修プログラム | | |
| (4) その他 | | |
| ア だんじり会館無料入館事業(10/16~10/22)(実績:合計1,105人 内訳 大人:860人・小人:374人) | 3年 10月 | |

総括

伊賀流忍者博物館の充実や三重大学伊賀連携フィールドへの協力、そして「伊賀上野」の文化、歴史や現在の協会の取り組みなどを、視察・研究を行いたいと各種団体からの要望により受け入れ・協力を行った。今年度は、コロナにより「上野天神祭のダンジリ行事」の中止決定もあり、だんじり会館の無料入館事業を行い市民を含め多くの方の受け入れを行った。

8 地場産品の商品開発と販売促進

- | | | |
|----------------------|-------------|----|
| (1) だんじり会館(地場産買物処) | 【資料6 16ページ】 | 通年 |
| (2) 伊賀流忍者博物館(NINJA坊) | 【資料6 16ページ】 | 通年 |

総括

各施設の特性に応じた販売方法や環境を整え、地場産品の各個店のアンテナショップ的な役割を果たすほか、施設の収益力・魅力アップを図っている。

9 観光関連機関との連携強化

- | | |
|--------------|----|
| (1) 公益団体との連携 | 通年 |
|--------------|----|

ア 三重県

- (ア) 三重県外国人観光客誘致促進協議会
- (イ) 三重県東京事務所(三重美し会)・関西事務所ほか
- (ウ) リニア中央新幹線建設促進三重県期成同盟会
- (エ) 三重とこわか国体・三重とこわか大会実行委員会
- (オ) 三重県営業本部地域別懇談会 ほか

イ 伊賀市

- (ア) 伊賀上野NINJAフェスタ実行委員会
- (イ) 伊賀市国際交流協会
- (ウ) 伊賀市さくらの会
- (エ) 伊賀鉄道活性化協議会
- (オ) 伊賀市中心市街地活性化協議会
- (カ) JR関西本線電化を進める会
- (キ) 伊賀ブランド推進協議会
- (ク) 伊賀市地域公共交通活性化再生協議会
- (ケ) いがぶら実行委員会
- (コ) うえのまちまちづくり協議会
- (サ) 伊賀上野シティマラソン実行委員会
- (シ) 伊賀山城南定住自立圏共生ビジョン策定委員会
- (ス) お城の周りライトアップ実施委員会
- (セ) 伊賀市総合計画審議会
- (ソ) 「忍びの里 伊賀」創生プロジェクト会議
- (タ) 上野城新能実施委員会
- (チ) 伊賀上野・城下町のおひなさん実行委員会
- (ツ) 観光・文化施設調整会議(コロナ対応)
- (テ) 伊賀市文化財協議会
- (ト) 伊賀市人権学習企業等連絡協議会 ほか

ウ 公益社団法人日本観光振興協会

エ 公益社団法人三重県観光連盟

- (ア) 会長が理事職
- (イ) 事務局員が企画宣伝委員会委員
- (ウ) おもてなし三重ボランティアガイド連絡協議会

オ 全国京都会議

カ 三重県博物館協会

キ 上野商工会議所

- (ア) 伊賀市中心市街地活性化協議会
- (イ) 株式会社まちづくり伊賀上野
- (ウ) 伊賀学検定実施委員会
- (エ) 上野天神祭地域振興実行委員会
- (オ) 市民夏のにぎわいフェスタ2021実施委員会
- (カ) 観光部会・NAVIGA ほか

ク 公益財団法人芭蕉翁顕彰会

ケ 公益財団法人伊賀文化産業協会

コ 一般社団法人大山田温泉福祉公社

サ 三重大学

- (ア) 三重大学伊賀連携フィールド ほか
(国際忍者研究センター・国際忍者学会)

シ 全国グリーンツーリズム協議会

ス 名阪国道及び国道25号線整備促進期成同盟会

セ 伊賀地区職域防犯連合会

ソ 伊賀市防火協会

タ 川上ダム地域連携PT会議

チ テロ対策伊賀パートナーシップ ほか

- 広域連携 ツ 甲賀市・甲賀市観光協会・信楽町観光協会
 テ 伊賀流忍者観光推進協議会
 (伊賀市・名張市・伊賀上野観光協会・名張市観光協会・三重県・三重大学伊賀連携フィールド)
 ト 上野観光連盟(東京都台東区)
 ナ 日本忍者協議会
 ニ 中伊勢温泉郷観光推進協議会
 ノ 忍びの里伊賀甲賀忍者協議会
 (伊賀市・甲賀市・伊賀市教育委員会・甲賀市教育委員会
 ・伊賀上野観光協会・甲賀市観光協会・信楽町観光協会)
 ネ 伊賀上野観光協会・津市観光協会・松阪市観光協会・鳥羽市観光協会・亀山市観光協会
 ノ 歴史街道推進協議会 ほか

(2) 観光エージェントとの連携

- ア 観光券取扱業務の推進 通年
 イ JTB等の誘客促進会に入会

総括

本協会の特性を生かし多様な関係者と連携を図り、その運営や事業に参画・協力を行った。

10 観光施設の指定管理業務と観光案内所業務の受託、および施設管理

- | | | |
|-----------------------|------------------------|----|
| (1) 伊賀流忍者博物館 | 【資料2 11ページ】【資料6 16ページ】 | 通年 |
| (2) だんじり会館 | | 通年 |
| (3) 伊賀伝統伝承館 | | 通年 |
| (4) 伊賀市観光案内所(ハイトピア1F) | ※令和4年3月31日で業務委託終了 | 通年 |
| (5) 上野公園観光案内所 | ※令和4年3月31日で業務委託終了 | 通年 |

総括

伊賀流忍者博物館を自主運営し、その収益により観光振興事業を行っている。また、伊賀伝統伝承館では伊賀の伝統的工芸品及び伊賀市の観光振興を図る目的で開設し、運営管理のサポートを行っている。だんじり会館については、効率的な施設管理を行い、観光協会の事業と一体的な観光推進事業を行うよう努めるほか、観光案内所業務を効率的に行うよう務めた。(ただし「観光案内所」業務委託については管理者を入札により選定する方式に変更となり協会での管理は令和3年度で終了)

11 支部への支援

- (1) 島ヶ原支部、阿山支部、伊賀支部、大山田支部、青山支部

総括

各エリアの現地情報の収集と連携強化を図り、地域の特性を活かした観光振興事業を行った。また、HPの統合管理や広域周遊に向けた統合事業を実施した。

12 日本版DMO法人の認定とその事業の推進

(1) DMO推進体制強化

- ア 専門人材による体制強化
 イ グループウェアの導入、利用
 ウ スマホンアンケートシステムを使用したマーケティング調査関連業務(KPI必須項目取得)
 KPIデータの収集(スマホンアンケートシステムを活用してのアンケート調査)
 ※令和2年4月1日～令和3年3月31日まで 収集件数:3,403件 メールアドレス取得件数:2,088件
 ※令和2年度分までの調査内容はDMOホームページで公開
 DMO登録を目指す他団体へのシステム有償提供
 (東奈良名張ツーリズムマーケティング、(一社)森の京都DMO、信楽町観光協会、(一社)松阪市観光協会)
 エ ステークホルダーとの合意形成
 DMO推進会議 ※新体制での事業実施
 ・伊賀上野DMOトップ会議 3年 5月 27日
 ・伊賀上野DMO推進プロジェクトチーム会議 通年
 ・伊賀上野DMO担当者ワーキング会議 通年
 合意形成
 ・DMO情報共有懇談会 3年 12月 7日
 第1部 2020年度マーケティング報告 報告者:伊賀上野DMOアドバイザー 平順一郎 氏
 第2部 講演:Googleマイビジネスの活用について 講演者:Googleマイビジネス
 プロダクトエキスパート 永山卓也氏

- | | | | |
|---|----|----|----|
| (2) 人材育成・受入環境整備業務 | | | |
| ア 新商品・観光コンテンツ開発(観光まちづくり企画塾) | | | 通年 |
| イ JNTO認定「外国人観光案内所」登録に伴う受入環境整備 | | | 通年 |
| ウ 多言語翻訳事業者(ネイティブライター)による地域資源の英語紹介文の活用 | | | 通年 |
| (3) 情報発信業務 | | | |
| ア Webを活用した情報発信、各種データの公開 | | | 通年 |
| ・DMOホームページの開設 (https://dmosupport.com/) | | | |
| イ 海外エージェントとのオンライン商談 | | | 通年 |
| ウ 観光情報誌制作 | | | |
| ・特集版差込用情報誌「ペットと楽しむ伊賀散歩」 30,000部 | 4年 | 3月 | |
| ・特集版差込用情報誌「女子旅ドライブin伊賀」 ※データ作成のみ(令和4年秋発行予定) | 4年 | 3月 | |
| エ 伊賀牛炙り丼の情報発信、PRツールの作製 | | | 通年 |
| (4) 観光コンテンツ造成促進業務 | | | 通年 |
| ア 城下町体験プログラム整備事業 | | | |
| ・城下町アプリ開発 | | | |
| ・心・技・体 伊賀忍者道場 | | | |
| ・予約システムの運用 ほか | | | |
| イ 自然体験・広域回遊促進業務 | | | 通年 |
| ・「忍びの里伊賀」創生 観光コンテンツ造成磨き上げ事業<補助事業> 採択6件 | | | |
| ①忍者修行体験事業(大山田支部) ②しまがはら歴史街道ウォーキング事業(烏ヶ原支部) | | | |
| ③「対人非接触型 移動式忍者体験道場(仮)」整備事業(NinjaTag協会) | | | |
| ④デジタル技術を用いたトレランイベントによる体験型の観光促進事業(忍者トレラン実行委員会) | | | |
| ⑤忍者九字護身回廊事業(阿山支部) ⑥旧伊賀街道で遊ぶぞ! 学ぶぞ! 事業(大山田支部)※年度途中で辞退申請。 | | | |
| (5) 地域の観光資源磨き上げを通じた域内連携促進に向けた実証事業 | | | |
| ・観光庁「地域の観光資源の磨き上げを通じた域内連携促進に向けた実証事業」 | 3年 | 8月 | ～ |
| (城下町デジタルテーマパーク・教育旅行3.0) | | 4年 | 2月 |
| (6) その他 | | | |
| ・三重県観光連盟協働事業 デジタルマーケティング導入支援事業 | 3年 | 8月 | ～ |
| Googleビジネスプロフィール導入・活用支援(域内施設・事業者) | | 4年 | 3月 |
| ・「忍者の日」プロモーション事業 | | 4年 | 2月 |
| ケント・モリ氏とのコラボ「Feel Like Ninja」プロジェクト実施 | | | |
| (7) 各種団体の協力 | | | |
| 【視察受入】・公益財団法人大阪観光局(オンライン)(大阪府) | | | |

総括

主要観光施設・宿泊施設等の設置協力によりお客様によるスマホアンケート調査を実施し、様々なデータ収集、KPIの数値目標の設定を行い、市内の多様な関係者との合意形成情報共有懇談会等を開催し、取り組み内容・調査結果の情報共有を行った。そして観光コンテンツ造成促進業務を推進し補助事業も展開し様々な取り組みに対して支援を行った。

また、観光庁の磨き上げ実証事業に2事業が採択されその事業実施、(公社)三重県観光連盟との協働事業としてデジタルマーケティング導入支援事業を行い、Googleビジネスプロフィール(旧 Googleマイビジネス)を活用した情報発信の普及・啓発と事業者情報を集約した伊賀全体の情報発信のデジタル化を図る取り組みを行った。そして世界的なダンサーのケント・モリ氏とのコラボにより忍者の日において「伊賀忍者」を世界発信することができた。

13 会議

- | | | | |
|-------------------|----|----|-----|
| (1) 定時社員総会 | | | |
| ア 令和2年度決算 | 3年 | 6月 | 25日 |
| (2) 理事会 | | | |
| ア 通常理事会 (令和2年度決算) | 3年 | 6月 | 15日 |
| イ 臨時理事会 | 3年 | 8月 | 17日 |
| ウ 通常理事会 (令和4年度予算) | 4年 | 3月 | 29日 |
| (3) 監事会 | | | |
| ア 令和2年度決算 | 3年 | 6月 | 8日 |
| (4) 正副会長会議 | | | 通年 |
| (5) 支部長会議 | 3年 | 5月 | 19日 |
| (6) その他会議 | | | 通年 |

総括

定時社員総会をはじめ各種会議を開催し、組織の方向性や事業の検討を適切に協議・審議した。